



院内研究発表会報告

当院は毎年10月に院内研究発表会を行っています。各部署で研究テーマを決めて取り組んでいます。今年も看護部より4演台、コメディカルより3演台の計7演台の発表がありました。各部門、アンケート調査の実施やデータ分析、事例検討等を行った上で研究結果の報告を行いました。他部署の研究発表を聞くことでその部署が何に問題意識を持ち、何を大切に日々業務に取り組んでいるのかということも見える貴重な機会となっています。質疑応答での活発な意見交換も行われ、職員同士のコミュニケーションの場にもなっています。来年もさらに精度の上上がった研究発表会を目指して病院全体で取り組みたいと思います。

Voice

人生の最期まで、その方が望む場所での療養を支援する

1年がたつのはあっという間で、今年も残りわずかとなりました。ところで、「この時間があったら」という間に過ぎていくという感覚は、年齢を重ねると加速しているように感じます。この時間の感じ方については諸説ありますが、人生の後半を生きる私は、あつという間に過ぎていく日々を大切に過ごしたいと思っています。その中で、看護師として今、注力していることは「人生の最期までその方が望む場所での療養」を支援することです。

まだまだ勉強中の身ですが、今年から北海道ホームヘルスケア研究会という在宅ケアに関する活動をしている研究会の学習生としてその活動に参加しています。皆さんご存知のように国策である地域包括ケアシステムは、最期まで住み慣れた地域での生活を実現するためのしくみです。厚生労働省の調査では、日本の約6割の人は「可能であれば自宅での最期まで療養し、終焉の時も自宅で看取って欲しい」と希望しています。しかし、実際には8割の方が病院で最期を迎えられています。このギャップの背景には、介護してくれる家族を慮る気持ちや症状が悪化した時の不安という意識があります。また、自分の死が近い場合に受ける医療や受けたくない医療についての家族との話し合いについては「全く話し合ったことがない」という方が多く、自分

で判断ができなくなった場合に備えてどのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかを記載した書面については、多くの方がその必要性を感じていても実際に作成しているのは極わずかという調査報告もありました。

病院で勤務して日々感じることは、正しい情報のもとに行われるこれらについての話し合いと書面の有無が、自分らしく生きぬくことに大きく影響しているということです。地域包括ケアシステムの基盤にあるのは「本人の意思と選択」です。正しい情報を得て、頑張ってきた自分が自分らしく生きぬくために私はどうしたいのかを是非大切な人や私たちに伝えてください。私たちは、その言葉を元にあなたらしく生きるための支援をさせていただきます。時間はあっという間に過ぎていくものです。私も自分の考えを家族に伝え、また家族の考えに対しては専門職として正確な情報を伝え、書面を更新していくと思っています。

2階病棟 病棟長 齊藤 千夏

地域医療連携室

相談受付時間：午前9時～午後5時まで(月～金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。

■地域連携
他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。

■医療相談
経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でもご相談も構いません。

外来診療時間	[平日] 午前9時～12時・午後1時～5時					
	月	火	水	木	金	土
午前	院長	院長	山本	院長	院長	交代制
	北川	佐々木	豊田	佐々木	豊田	整形外科 専門外来
午後	山本	中村	消化器内科 専門外来	中村	大野	循環器内科 専門外来
	佐々木	大野	大野	山本	山本	
	中村	豊田	佐々木	北川	中村	
	循環器内科 専門外来	整形外科 専門外来		整形外科 専門外来		

※診療時間午後2時～5時 日曜・祝日は休診いたします。



医療法人社団
土田病院
TSUCHIDA HOSPITAL

札幌市1次・2次救急指定病院

TEL:011-531-7013

〒064-0921 札幌市中央区南21条西9丁目2-11
E-mail / info@tsuchida.or.jp
URL / http://www.tsuchida.or.jp



診療科目
外科・内科・消化器外科・消化器内科・救急科・整形外科・循環器内科・肛門外科・リハビリテーション科・放射線科

病床数
一般病床 / 42床、医療療養病床 / 60床、地域包括ケア病床 / 32床



毎年恒例の「土田病院クリスマスコンサート」の時期がやってまいりました。今年はクラリネットアンサンブル「jolie」の皆さんにお越しいただき、クリスマスソングやカーペンターズメドレー、懐かしの曲の演奏をご披露頂きました。クラリネットの音色は迫力があるのに耳に優しく響き、会場に流れなかった患者さんの病室にも心地よい音楽が届いていました。アンコールにも快くお応えいただき、患者さんやご家族と共に職員も一緒に癒しのひと時を過ごさせていただきました。

在宅医療支援センター MSW 高崎 和見

当院理念
地域の安心を第一に考えた病院づくりを目指しています。

1. 地域のみならずから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
2. 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い専門医療を実践します。
3. 患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。

冬の転倒を予防する!

筆者：リハビリ科理学療法士 木野 靖史

冬場の歩道、特に建物の玄関前などはツルツルの氷になっているところも多くなります。当院の患者さんでも、転倒による怪我、骨折などで入院される方も増える時期です。そこで、ツルツル路面でも転ばないための予防策を、いくつかご紹介したいと思います。

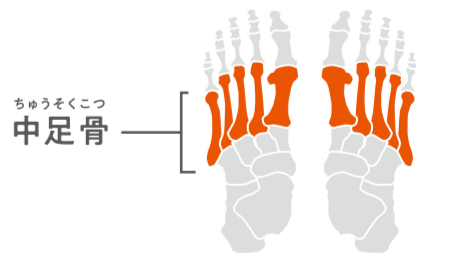
① 靴を選ぶ

まず、ツルツル路面でも転びにくい靴をご紹介します。右図のように、ピンスパイク付でガラス繊維の入った靴底は、ツルツル路面でもしっかり止まるので安心。最近は靴の量販店でも手軽に購入が可能ですね。



② 靴の紐をしっかりと締め上げる

右図の足部位(中足骨)をしっかりと締めると、足の指が開いてふんばりやすくなります。靴ひもで同じ箇所をしっかりと締めることで同様の効果が得られるので、おすすめです。



③ 足の指をしっかりと鍛える

足の指を鍛える方法として一般的なのは、タオルを床に敷いて、足の指でたぐりよせる方法です。足底筋が少し疲れるまで行くと効果的です。



おすすめグッズ

続いて、通販などで紹介されているもので使いやすい商品をご紹介します(筆者も使用中)。この商品はシリコン製で、足の指にしっかりとひっかけて握る力を鍛えることができます。そのまま足底やふくらはぎのストレッチもできるので、転倒予防のための足づくりに最適です。ぜひ参考にしてください。

足裏・足底のアーチ かんたんトレーニング

1セット 10~20回

指にしっかりと玉をひっかけて、膝を伸ばした状態で足指をぐーっと握りながら、つま先を伸ばします。(足底のアーチを意識)手のポジションは変えずに、つま先をしっかりと伸ばしてください。

